

フロイディッヒ ・ フリュューゲル
Freudig.Flügel

23年
4月号

2011年4月 8日
編集・発行／大正会館内
大正フロイデ：西風 勝

記念コンサートに向けて
大正フロイデ 副団

副団長
多田 泉



タイトルと少しニュアンスが違いますが、今回は、音楽にまつわる“迷言・迷信”について一言。
「音痴です」と思い込んでいる人は沢山います。しかし、本当に音痴の人はいません。
「リズム感が悪い」と言う人は沢山います。
しかし、曲を繰り返し練習するうちに、必ず良くなります。テンポを守ってリズムを正確に。決定するのはタイミングです。指揮者の腕の見せ所。
音をよく聴くと、そこから「表現」する能力を発展させていくことが出来ます。若い人達は、盛んに”耳コピ”（CD等を聴き、そのまま覚える）で練習を進めます。
念入りの練習の中で体得するものが、すべてです。

毎週水曜日の補講に力が入る多田先生

- 1 震災の町に 雪が降り 津波の村に 雨が降る
毛布分け合う 老し人々 パンを分け合う 幼子たち
私たちは忘れない 北国の人たちの あたたかい心
私たちは忘れない 北国の人たちの 美しい姿を
- 2 復興の街に 灯りがともる ガレキの中に 思い出さがす
危険をおかし 助け合った日 命をかけて 守った人
私たちは忘れない 日本中の人たちの つながる手と手
私たちは忘れない 世界中の人たちの 友情の花束

” つながる手と手、世界の友情”（復興賛歌）詩：森 みち

その際、“感覚”とか
“直感”が最も役にたちます。
無意識のうちに、ネガテ
イブ(否定的)な“思考”や
感情”にはまり込んでし
ようことは、何事によらず
あり得ることなので、練習
の中で“壁”を感じること
があれば、お気軽にご相談
ください。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

※知人の作曲家が、次の詩に
曲をつけた、と送ってきて
くれました。



第一回目、定期演奏会の時は来賓挨拶の手話通訳者として、第二回目は観客として、第三回目からはテノールの一員として参加させて頂いています。

おたまじやくしが読めないのに、音楽・歌が大好きで、ろくに弾けないガット・ギターを大事に持っています。素晴らしい先生方に、発声練習の基本から教えて頂き、カラオケで歌うときも口の開け方や声の出し方、立ち方等注意して歌うようになりました。



テノール
宇田川 伸一

ナ、ナント！
音域が広がった

最近気付いた事は、ナ
ナント！音域が少し広がっ
ているんです。本当に！！
この年齢になっても。
更に、さらに練習に励んで、
九月四日の記念コンサート
を迎えたいと思います。
もう既に、チケット二枚
の予約をもらってます。
毎週金曜日が楽しみです
（多田先生の特訓もすごく
勉強になります）毎回、少
しでも成長して帰りたいと
いう気持ちで、練習に参加
させて頂いています。
歌は、どんな歌でも教え
て下さい。
西本先生を中心に諸先生
方、ピアノの先生方、事務
局の方、世話役の方々、本
当に有難うございます。
これからよろしくお願
いいたします。楽しい仲間
の皆さんも！

§ 5周年記念コンサートの概要 §

*** 日 時 平成23年9月3日(日)**

午後1時40分開演

*場 所 「いずみホール」

中央区域見1-4-70

席数 800席

2 部制

第1部

「ふるさとの四季」、「さらば故郷」他

第2部

モーツァルトのレクイエム全12曲

※第1部開演の前に
「大阪俘虜収容所の講演会」 (30分)

◎ リハーサルは、9/3(土)
大正区民ホール(4階)午後3時から

フロイデ団員で幸せ

アルト
中村 絹代

記念コンサートに向けて、五味 建先生による指導が始まりました。(4/1)

初回からの参加ですが、第五定期演奏会で歌い切った時の感動は、初回とはまた違って大変な興奮も覚えました。その中に自分を感じる幸せを、次回からも感じ続けたいと思います。

フロイデ団員でありながら、優等生ではない劣等生の私は、「練習について行くのがやっとなし。しかし本番には強い」を地でやっていきます。

九月に開催される記念コンサートに向けての、モツレク練習は、パート別と合同、優しくも厳しく指導

夫婦で大舞台に
立てる喜びソプラノ
畠 敏江

桜咲く春本番の四月に、指揮者・五味 建先生をお迎えしての練習が始まり、身の引き締まる思いです。

五年前に生涯学習でのコーラスを通じて、区民合唱団を立ち上げるので参加して下さい。との事で入団し、今日に至っています。

九月四日には、いずみホールでの五周年記念コンサート

パートに夫婦で参加できる事を幸せに感じております。

難曲の「レクイエム」全曲挑戦する事に、大変な思いをしながらガンバッテいきます。

指導して下さる諸先生方に、分かりやすく、楽しく教えて頂いて感謝しています。歌いこなせて行くのが楽しみです。

歌を通じて友達の輪も広がり、明るく元気に年を重ねて行きたいです。

先生方は「皆さん、本番には強いですね」と言われますが、コンサート当日には達成感が得られる様、今後の練習に取り組みたいと思っています。

九月・いずみホールに向かって

「レクイエム」に向けて

アルト
松村 みさお

を受けながら、毎回楽しく二時間が、あつという間に過ぎます。

「九月までは、まだまだありますよ」の励ましに頑張ります。

今、私は根性腰痛症に悩まされています。プロック注射を打ち治療してはいますが、この団報が出る頃には治っていません様に！！

後になりませんが、西本先生はじめ諸先生方、関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

これからよろしくお願いたします。

第九定期演奏会が終わり、ホットする間もなく、次は九月四日、いずみホールに向け練習、練習。

モーツァルトは難しく、助かりますのは、補講練習。熱心に指導して下さい先生方、本当に感謝、感謝の

懇切丁寧な指導に感謝

テノール
石井 昭

大正フロイデの五周年記念公演に向かって、練習を始めて一ヶ月が過ぎました。

ラテン語やギリシア語の区別も出来ない上、初めて見聞きする歌詞や発音。譜読みも十分出来ない私に、懇切丁寧な指導して下さい先生方には頭が下がります。

これからの五ヶ月間で、素晴らしいハーモニーを紡

日々です。

大正区の体育館からいずみホール、なんと言うステッパアップ！まるでシンデレラ！

これから大変だと思いますが、先生方、御指導宜しくをお願いいたします。

ガンバレ、ガンバレ、大正フロイデ！

エイ、エイ、オー！

ぎ出せる様、仲間の皆さんのお荷物にならない様、頑張っていきたいと思っています。

思い返せば、今から三年前の四月、誘われるままに入った合唱団は、新入りの私なんかまわらず、部分練習をどんどん進めておられた。当初は、大変な所でしたが、落ち込んで考えてみると、自分で皆さんに追いつくしか無いと悟りました。

ICレコーダーや練習用のCD等でドイツ語での第九に挑戦。第三回目、二月の定期演奏会に初参加しました。反省する事ばかり。

第四回目、暗譜を目標にしていながら、インプットは完璧なハズ、でもアウトプットが・・・と訳の分からぬ演奏会では指揮棒に集中して音楽に目を落とす事も無く、気持ちよく歌う事が出来たのも、指揮者・高谷先生の好リードに乗せて頂いたお陰と、感謝しています。

大正フロイデ合唱団への参加を検討されている方、是非挑戦して下さい。

道は頑張れば向こうから開いて呉れますよ。

「世話人」を

していただけの方、
募集しています。



家族の協力あってこそ

ソプラノ
高岸 悦子

五年の歳月を得て、今回大正フロイデ定期演奏会に出演できた事は、大正区で生まれ育った私にとって、これほど嬉しい事はないと思っています。

大仕事を終えた様な、達成感と感動を覚えました。一年目、二年目、三年目、四年目、五年目と、それぞれの思い出は、年齢そしてその時の健康状態にも違いはありますが、主婦と合唱団員を両立出来ました。大げさですが「成せばなる成さねばならぬ何事も」の心境です。

又、合唱団の一人として合唱経験も増え、レベルの高い曲目にも挑戦し発声練習が、如何に大切だという事も分かり、大変勉強になります。

これから多くの人に出会い、音楽活動にも参加して楽しみたいと思います。

音楽は人を優しく勇気づけるものと思っています。そして、九月四日には音響の素晴らしい有名人、いずみホールでの五周年記念コンサート。素敵な衣装も曲目も決定。

体調を整え無理の無いように、頑張りたいと思っています。

「あの感動をもう一度」

ソプラノ
南條 伸子

歌い上げた瞬間、体中から熱いものがこみ上げ、観客席が潤んで見えた。ブラボーの声と共に、大きな拍手が鳴り響いた。

オーケストラとフロイデのメンバーはこの時、千島の体育館満員の観客と一体化したことを感じた。

この感激が忘れられなくて、高谷先生が「大正区冬の風物詩」と仰る大正第九コンサートの一コマで、私は歌うのだろうと思う。毎週金曜日、「行って来ます」と、まだ食事中の主人

追憶
五十年ぶりの感激を・・・ソプラノ
所 華次子

想い起こせば昭和三十年春、朝日新聞の合唱団、アサヒコーラスの入団テストを受ける。コール・ユーブを練習曲からと、イタリヤ歌曲の内「サンタルチア」で歌う。苦心惨憺の末、合格。

人事を尽くそう

テノール
大橋 万紀

と娘を後に、夜の街を自転車で急ぐ。北風がビュンビュン吹く寒い日は、今日は休もうと心の声がささやく。でも行かなくては、行くこととコートの襟をたてる。晴らしは努力のみである。素と実感する。風邪をひいても怪我をしても、練習には行けない。家族の理解、協力なしでも参加できない。フロイデのメンバーと歌いたい。あの感動に浸りたい。九月の五周年記念に、いずみホールで歌う自分を夢見て、今日も自転車を走らせる。

嬉しかった御指導は、木村四郎先生、樋本栄先生、松本弘子先生。

教室は朝日新聞会館屋上にあり、満天の星を眺めながら、雨の降る日は屋根打つ雨だれを聞きながらの楽しいレッスン。

遂に昭和三十三年四月三日、フェステバルホール完成。オーブニング式典に、朝比奈隆先生の指揮で「四季」の発表。練習会場は大坂音楽大学講堂。オケ合わせも緊張の毎日でした。

あの感動をこの九月四日「いずみホール」でもう一度味わえるか！？感激、感謝。長生きて良かった。今年、美しいドレスに身を包み、力一杯頑張ろう。今日も車椅子に乗って練習に向かう。西本先生、フロイデの皆さんこんなチャンスを与えて下さって、本当に有難う。

「いずみホール」を
感動の渦に！！アルト
小出 知代子

五周年記念コンサートの会場がいずみホールに決まった、とはじめに聞いたときには、本当に驚きました。「素晴らしい音響で有名なホール」で歌えるのは本当にありがたいことです。しかしその音響を生かすも殺すも、全て私たち次第。いつも以上に真剣に取り組まなければ、と武者震いをする思いでした。

それにしても、結果的にはありますが、東日本を襲ったあの大地震の半年後に私たちがレクイエム（葬送曲、鎮魂歌）を歌うことになるうとは、なんと犠牲に合わせた方々に恥じない演奏ができるよう、残り五ヶ月間、練習に励まなくては行けませんね。

胸を張って本番の舞台に立てよう、人事を尽くしましょう！

えっ！五周年記念コンサートをあの「いずみホール」で！？モーツァルトのレクイエムを！？

思えば三年前モツレクの楽譜を頂いた時、何これ！ラテン語！音符がいっぱい並んでる！こんな歌えるの？？頭の中は大パニックでした。

でも、諸先生方の熱心な素晴らしい御指導のお陰で、補講は更に自信へと繋がりました。

感謝、感謝です。それから、可能な限り楽譜を「頭に入れる」を目標にウオークマン大活躍！今では、あの沢山並んでいた音符もクリア出来、気が付くと口ずさんでいる。！そんな自分を誉めてあげています（笑）

第三回定期演奏会でレクイエム（一）を暗譜で発表出来た時、あの感動は心が豊かになり、次のチャレンジへのステップになった気がしています。

そのモツレクも後少しで制覇出来そうです。

九月の記念公演に向けて心を一つにし、「大正フロイデ」として、胸に響く素晴らしいハーモニーを届けたいと思います。

そして「いずみホール」を感動の渦に巻き込み、全員でやり遂げた後の達成感を、満喫したいと思っています。



大正フロイデからの
お知らせ4・5月 定期練習・補講日程等
(午後6時45分～9時)

4月 1日(金)	全員	定期練習
4月 6日(水)	アルト	補講
4月 8日(金)	全員	定期練習
4月13日(水)	テノール	補講
4月15日(金)	全員	定期練習
4月20日(水)	バス	補講
4月22日(金)	全員	定期練習
4月27日(水)	ソプラノ	補講
5月 6日(金)	休館日	
5月11日(水)	アルト	補講
5月13日(金)	全員	定期練習
5月18日(水)	テノール	補講
5月20日(金)	全員	定期練習
5月25日(水)	バス	補講
5月27日(金)	全員	定期練習

熱意に圧倒！これからも一緒に
ピアニスト 西浦 陽子

大正区民合唱団発足のときからお世話になっております。今日は第一回目の練習と何気なく練習会場に赴いたら、沢山の団員の方々と、立派な式典も待っていて、思わず気の引き締まる思いがしたのを覚えています。大正フロイデ合唱団は、まずなんと言っても、皆さんの熱意がすごいですね。常に前向きで、発展的。最初の第九を成し遂げたあと、次々と曲のレパートリーを増やし、数々の本番をこなし、あちこち遠征もし、本当に、並々ならぬエネルギーで、フットワークも軽く、本気で、重んじています。



※フロイデ第1回総会の様子：H23. 3. 25
第5回第九コンサートDVD観賞後
・22年度事業、決算報告、23年度の事業
・予算、5周年記念コンサート等！

あたたかい皆さん、明るい未来を毎に回ったかい、いいお世話をいたします。役員の皆様、お世話さる方々のご苦勞にも感謝いたします。この方々も皆、歌える喜びを大切に、一丸となって、合唱団になり、頑張っています。これから、一緒に頑張りましょう。

平成23年度大正フロイデ年間計画

月	日(曜日)	行 事	場 所 等
4	10日(日)	茨木市第九	茨木市西穂積辯天宗冥応寺境内
6	4日(日)	鳴門第九コンサート	鳴門市文化会館
	12日(日) 予定	大阪府合唱祭	SAYAKAホール
9	4日(日)	合唱団設立5周年コンサート	いずみホール
10	23日(日)	大阪市コミュニティ協会合唱祭	旭区民ホール
12	23日(祝) 予定	クリスマスコンサート	大正区コミュニティセンターホール
	29日(木) 予定	夢の第九コンサート	東京国際フォーラムホール A
2	19日(日) 予定	第6回第九定期演奏会	千島体育館

▽事務局通信

3月25日に総会が終わりました。昨年末に事務局体制を整備して、その際に『総会』の開催をお約束していただけてほっとしました。9月の5周年記念コンサートを含む事業計画を団員の方々に可能な限り詳細に説明し、今後、団として纏まった取り組みができるものと信じております。また、決算の概要を報告することによって、「第九」の事業費がいくらかかり、団員がどの程度の負担をしているのか、団費がどのように使われているかなどを明らかにしたところです。また、世話人会の機能強化とともに、「団員の声」箱を設置するなど、今後とも大正区民合唱団は、「団員みんなのための合唱団」だということを念頭に運営してまいりたいと考えておりますので、皆さんのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。＜東＞

※大正フロイデのホームページからも読むことができます。

PC : <http://www12.atwiki.jp/freude/pages/17.htm>

携帯 : <http://www12.atwiki.jp/freude/>

携帯用のQRコード画像を添付しました。ご利用ください。



絵：関口 加津代
(在：伊東市)